

# 第69期 年次報告書

平成26年12月1日～平成27年11月30日



マルカキイ株式会社

# 日本・米州・中国・東南アジアの4極体制 新たなステージへ



取締役会長 釜江 信次

取締役社長 竹下 敏章

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益の明確な改善により所得環境が着実に改善し、個人消費は底堅い動きを示しました。こうした民間需要の底堅さを背景に、国内設備投資は総じて緩やかな増加傾向にありました。その一方で海外では中国の景気減速をきっかけとした新興国経済の失速に伴い、先行きに不透明感が強まり、一部においては設備投資に慎重な動きも見られました。

このような状況の中で、当社グループは、「日米中亜4極体制 新たなステージへ For the Next Stage」をテーマに、中期経営計画の各種施策に取り組んでおります。

その結果、当連結会計年度の売上高は51,593百万円（前期比9.2%増）、営業利益は2,334百万円（同1.9%増）、経常利益は2,643百万円（同0.7%増）、

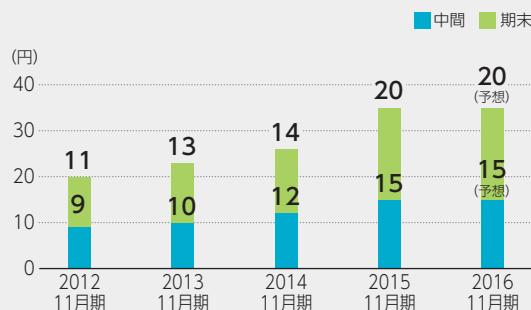
当期純利益は1,729百万円（同7.2%増）となりました。

今後の見通しにつきましては、国内では企業収益の改善に伴う雇用・所得環境の改善、および個人消費の底堅い推移を背景に、設備投資は緩やかな増加基調を維持していくと思われれます。北米においても、好調な自動車業界を中心に設備投資は緩やかに増加すると思われる一方、中国をはじめとする新興国経済の景気減速にはなおも懸念が残り、先行き不透明な状況であります。

このような状況のもと、次期の連結業績予想につきましては、売上高55,000百万円、営業利益2,460百万円、経常利益2,620百万円、親会社株主に帰属する当期純利益1,660百万円を見込んでおります。

株主の皆様におかれましては、今後とも当社グループへのご支援ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

## 1株当たり配当実績および予想

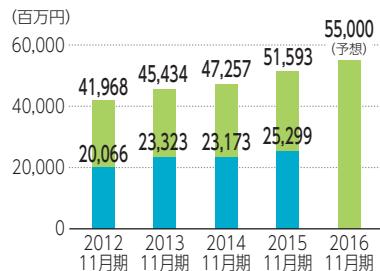


## 売上高(連結)

51,593百万円

前期比 9.2%増

■ 第2四半期(累計) ■ 通期

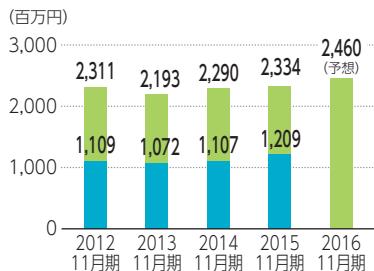


## 営業利益(連結)

2,334百万円

前期比 1.9%増

■ 第2四半期(累計) ■ 通期

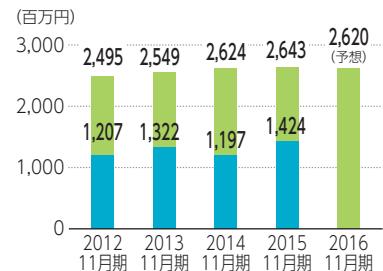


## 経常利益(連結)

2,643百万円

前期比 0.7%増

■ 第2四半期(累計) ■ 通期

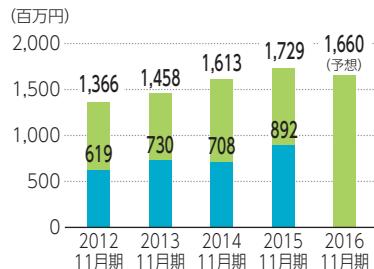


## 当期(四半期)純利益(連結)

1,729百万円

前期比 7.2%増

■ 第2四半期(累計) ■ 通期



## 1株当たり当期(四半期)純利益(連結)

195.40円

前期比 9.7%増

■ 第2四半期(累計) ■ 通期

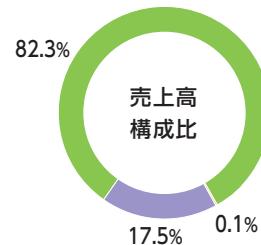


## 部門別売上高(連結)

■ 産業機械部門 42,483百万円

■ 建設機械部門 9,043百万円

■ その他の事業部門 65百万円



# 主に産業機械と建設機械を取扱う、グローバルな

産業機械部門／自動車などのメーカーに産業機械を販売。



## ≫ 当期の概況

産業機械部門では、当社の主力ユーザーである自動車業界を中心に底堅く推移いたしました。地域別に見ますと、日本国内は主力の自動車業界向け工作機械の販売が堅調に推移いたしました。アメリカでは製造業の設備投資が堅調に推移したことから、射出成形機の販売が伸びました。中国は引き続き景気が減速した状態が続いており、依然として厳しい状況であり苦戦いたしました。アジアにおきましては、インドネシアでも政府の予算執行の遅れやルピア安、不透明な世界経済を背景に、依然として景気は低迷しており苦戦いたしました。一方マレーシアにおいては部品販売事業が好調に推移いたしました。

この結果、当部門の売上高は42,483百万円(前期比9.4%増)、営業利益は2,783百万円(同0.3%減)となりました。

## Topics 01 メキシコ第2の拠点マルカ・メキシコ ケタロ事務所をオープンしました

2015年7月に、メキシコにおける第2の拠点として、ケタロ州にマルカ・メキシコ ケタロ事務所を開業いたしました。

ケタロ州は、首都メキシコシティより車で約3時間、メキシコ中央部よりやや南東に位置し、自動車産業を中心に生産拠点の進出が進んでおります。自動車産業が集積する中央高原(パフィオ地区)を中心に、アグアスカリエンテス州のマルカ・メキシコ本社と、ケタロ事

務所の2拠点体制により、お客様のメキシコ進出をサポートしてまいります。



## Topics 02 マルカ・タイ ピントン開始しました

2015年9月に、マルカ・タイ ピントン支店は、サービスメンテナンス工場と展示場を併設したビルに事務所を移転し、サービスメンテナンスを開始いたしました。

移転によりマルカ・タイ ピントン支店は、機械販売とサービスメンテナンスを一体化した営業を展開する体制を整え、お客様のニーズに対応してまいります。

# 専門商社です。

建設機械部門／建設・港湾業界に建設機械を販売・レンタル。



## ≫ 当期の概況

建設機械部門では、国内の住宅市場が緩やかに回復しており建設用クレーンの需要が増加いたしました。また企業収益の改善に伴う民間投資や震災復興工事を中心に、全体的に国内需要は上昇基調にあります。その一方で国内での公共投資は緩やかに減少、また中国の景気後退の影響もあり、建設機械業界は一進一退の状況が続いております。

このような状況下、販売においてはクレーンや中古建機販売が伸びましたが、利益率の低い大口案件や営業力強化を目的とした人員増による人件費が増加いたしました。

この結果、当部門の売上高は9,043百万円(前期比8.2%増)、営業利益は373百万円(同6.1%減)となりました。

## 支店でサービスメンテナンスを



## Topics 03 増配をいたしました

当期末配当につきまして、前回修正予想期末配当金から5円増配し20円とさせていただきます。

2015年7月に剰余金の配当および配当予想の修正を発表し、年間配当を30円とさせていただきますが、期末配当をさらに5円増配

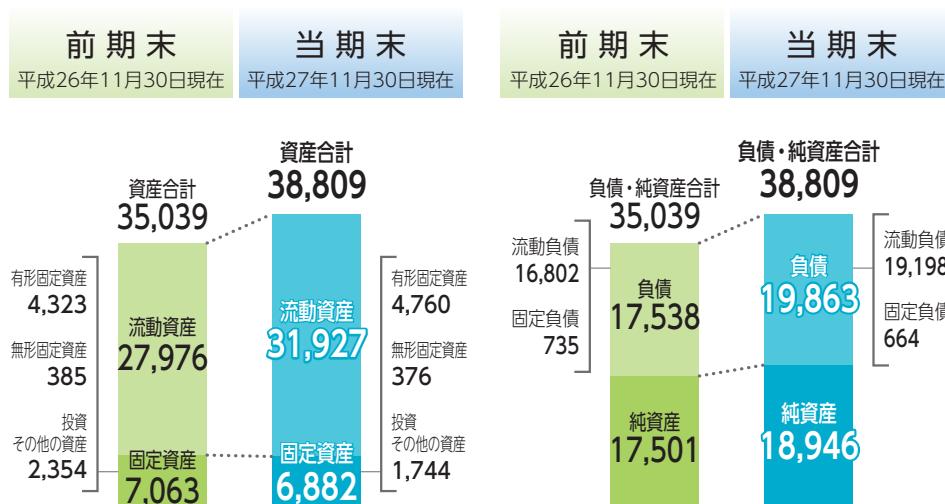
し、中間配当15円とあわせ年間配当を35円とさせていただきます。

今後も安定配当を基本方針とし、財務体質の強化を図りながら利益に見合った配当を行ってまいります。

	中間配当	期末配当	年間配当
平成27年(当期)	15円	20円	35円
平成26年(前期)	12円	14円	26円

## 連結財務諸表

### 連結貸借対照表のポイント (単位：百万円)



### Point

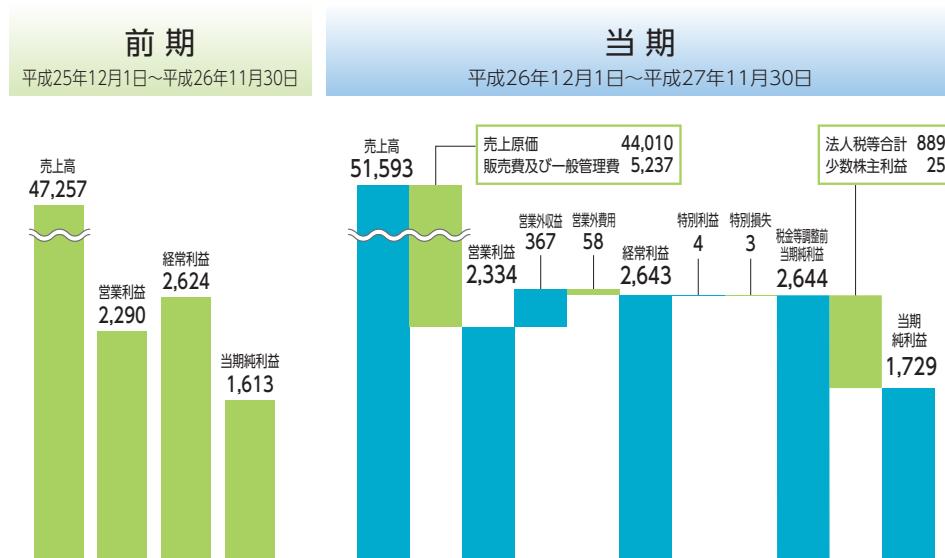
#### 流動資産の状況

前期末比3,951百万円増加し、31,927百万円となりました。これは、売上増加に伴い売掛金が2,184百万円増加したこと等によるものです。

#### 固定資産の状況

前期末比181百万円減少し、6,882百万円となりました。これは償還により投資有価証券が178百万円減少したこと等によるものです。

### 連結損益計算書のポイント (単位：百万円)



### Point

#### 営業利益の状況

人件費の増加により、販売費及び一般管理費が前期比424百万円増加しましたが、売上総利益が479百万円増加したため、営業利益は前期比1.9%増加し2,334百万円となりました。

#### 経常利益の状況

営業外収益が前期比26百万円減少しましたが、経常利益は前期比0.7%増加し、2,643百万円となりました。

※ 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 株式の状況 & 会社概要

### 株式の状況 (平成27年11月30日現在)

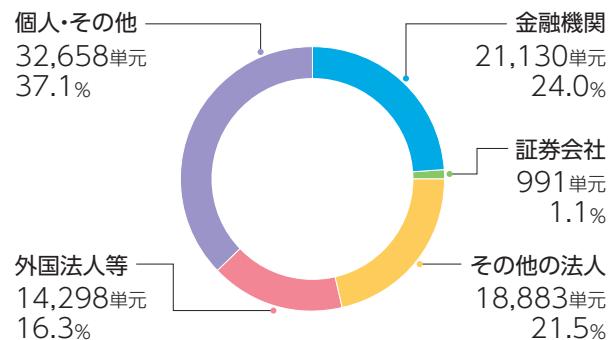
発行可能株式総数	33,600,000株
発行済株式の総数	9,327,700株
株主数	6,926名
単元株式数	100株

### 大株主(上位10名)の状況 (平成27年11月30日現在)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
コベルコクレーン株式会社	594,000	6.8
株式会社不二越	576,000	6.5
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	550,000	6.3
株式会社りそな銀行	350,000	4.0
株式会社みずほ銀行	328,000	3.7
HORIZON GROWTH FUND N.V.	289,800	3.3
マルカキカイ従業員持株会	283,190	3.2
株式会社三菱東京UFJ銀行	255,000	2.9
乾 孝 義	208,800	2.4
ダイハツ工業株式会社	200,000	2.3

(注) 持株比率は自己株式(529,090株)を控除して算出し、小数点以下第2位を四捨五入して計算しております。また、自己株式は上位10名から除いております。

### 所有者別株式分布状況 (平成27年11月30日現在)



### 会社概要 (平成27年11月30日現在)

商号	マルカキカイ株式会社 MARUKA MACHINERY CO.,LTD.
設立	昭和21年(1946年)12月16日
本社所在地	〒567-8520 大阪府茨木市五日市緑町2番28号 TEL.072-625-6551 FAX.072-625-6558 インターネットホームページ <a href="http://www.maruka.co.jp/">http://www.maruka.co.jp/</a>
主な事業内容	機械専門商社として産業機械、 建設機械の国内販売および輸出入
資本金	14億1,441万円
従業員数	連結 520名、単独 181名

### 役員 (平成28年2月23日現在)

代表取締役会長	釜 江	信 次
代表取締役社長	竹 下	敏 章
常務取締役兼常務執行役員	二 橋	春 久
取締役兼執行役員	真 鍋	聡 久
取締役兼執行役員	難 波	経 久
取締役兼執行役員	飯 田	邦 彦
※ 取締役	泉	信 介
※ 取締役	長 崎	伸 郎
相談役	乾	孝 義
常勤監査役	杉 浦	克 典
常勤監査役	有 山	晃 一
※ 監査役	古 澤	哲 太
※ 監査役	牛 島	慶 辰
執行役員	三 好	純 夫
執行役員	荻 野	利 文
執行役員	砂 河	一 文
執行役員	黒 澤	淳 一
執行役員	神 田	晃 三
執行役員	谷 口	徹

上記※は、社外取締役および社外監査役であります。

## 株主メモ

事業年度	12月1日から翌年11月30日まで
期末配当受領株主確定日	11月30日
中間配当受領株主確定日	5月31日
定時株主総会	2月
基準日	定時株主総会については 11月30日 (その他必要あるときは予め公告する一定の日。)
株主名簿管理人 (兼 特別口座の口座管理機関)	三菱UFJ信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所 (兼 特別口座の口座管理機関連絡先)	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
各種お問合せ	電話 0120-094-777 (通話料無料) ※証券会社等に口座をお持ちの株主さまのお手続きについては、口座を開設されている証券会社等にお問合せください。なお返戻郵便物、未払配当金等のお問合せについては、上記株主名簿管理人にお問合せください。 ※特別口座に記録された株式関係のお手続用紙のご請求は次の電話番号およびインターネットで24時間承っております。 手続用紙請求電話 0120-244-479 (通話料無料) (本店証券代行部) 0120-684-479 (通話料無料) (大阪証券代行部) インターネット <a href="http://www.tr.mufg.jp/daikou/">http://www.tr.mufg.jp/daikou/</a>
公告方法	電子公告 (当社ホームページをご覧ください) <a href="http://www.maruka.co.jp/">http://www.maruka.co.jp/</a> なお、やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載します。
上場証券取引所	株式会社東京証券取引所 市場第1部

## 株主優待のご案内



100株以上500株未満保有の株主さま  
1,000円相当のグルメセット



500株以上1,000株未満保有の株主さま  
2,000円相当のグルメセット



1,000株以上保有の株主さま  
3,000円相当のグルメギフト券

※写真は優待商品の一例です。



**マルカキカイ 株式会社**

<http://www.maruka.co.jp/>

**UD FONT**

見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。